

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3871400226		
法人名	医療法人 青峰会		
事業所名	アクティブライフ宇和		
所在地	西予市宇和町卯之町5丁目23番地 (電話) 0894-62-0626		
管理者	二宮 美菜子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成21年3月9日	評価確定日	平成21年4月30日

【情報提供票より】 (平成21年2月26日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年6月24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	14人, 非常勤 1人, 常勤換算 14.7人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成21年2月26日現在)			
利用者人数	17 名	男性 8 名	女性 9 名
要介護1	5 名	要介護2	2 名
要介護3	3 名	要介護4	4 名
要介護5	2 名	要支援2	1 名
年齢	平均 87.2 歳	最低 69 歳	最高 97 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所では、利用者の「その時、その瞬間」の気持ちを大切にされており、「お風呂に入りたい」という意欲や、ご本人のその時の希望に応じることができるよう努力されている。ご本人ご家族のご都合や状況に応じて、通院等、職員が同行されている。事業所では、利用者の方がご親族の結婚式に出席できるよう、ご家族とも相談しながら体調管理や精神面にも配慮して、計画的に支援された。日々、事業所の敷地内を散歩されたり、食材の買い物に出かけておられる。誕生日や、お正月等の特別な日には、お祝にお酒を少し飲まれる方もいる。食事の支度が日課となっている方もある。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

・前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、介護計画の様式に、ご家族から意見や要望を記入してもらった欄を設け、工夫された。

今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

・サービス評価のガイドブックや前回の自己評価を参考にしながら、職員個々で自己評価に取り組み、ユニットのリーダーがまとめられた。

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

・会議は、家族会時に合わせ開催されることもある。地域の方からは、「月行事への参加を回覧板で呼びかけてはどうか」と提案いただいた。

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

・ご家族には「何でも言ってくださいね」と気軽に意見を出してもらえよう、声かけされている。苦情等があった場合には、スタッフ会で話し合い、今後の対応についてご家族に報告されている。事業所主催の盆踊りの際には、ご本人も浴衣やじんべを着て楽しめるよう、ご家族にも協力をいただいた。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

・日々の散歩や買い物時、地域の方達と挨拶を交わされ、地区の盆踊りや商店街の夏祭りに出かけて交流されている。利用者とともに、ゴミ収集場所の掃除をされている。居室の窓から見えるご近所のお宅の方と手を振り合い、あいさつをされる利用者の方もいる。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アクティブライフ宇和

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 二宮 美菜子

評価完了日 平成 21年 2月 20日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			入居者さん、職員それぞれの個性・意思・人生を大切にしながら日々を過ごせるようにという理念を作っている。		開設当初に、職員の意見をまとめて作成し、意味を理解しやすいような理念にしている。
			(外部評価)		
			事業所の開設時、利用者個々の生活を支えていけるような理念が作られている。		さらに、「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことに取り組んでいくかということについて、この機会に話し合われてみてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			開設当初に職員で作った理念であり、新しい職員も心にとめて介護を行っている。		
			(外部評価)		
			職員の採用時には、必ず事業所の理念を説明されている。又、介護計画作成時や自己評価に取り組む際には、理念に基づき振り返っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関近くと食堂に張り出し、目に付くように張り出している。		案内パンフレットに載せる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩や畑に行ったときに会う方々にはきちんと挨拶するように心がけている。 回覧板もまわしてもらっている。 気軽に立ち寄ってもらえるような状態までにはなっていない。		回覧板の活用。毎日の挨拶。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地区総会には毎年施設長が参加している。 地区防災組織の講習会にも参加したが、それ以外の地域の活動には参加できていない。 (外部評価) 日々の散歩や買い物時、地域の方達と挨拶を交わされ、地区の盆踊りや商店街の夏祭りに出かけて交流されている。利用者とともに、ゴミ収集場所の掃除をされている。居室の窓から見えるご近所のお宅の方と手を振り合い、あいさつをされる利用者の方もいる。		可能な限り、参加していく。 地域の方達は、事業所に興味を持ってもらえるとのことであり、今後は、事業所にも訪れてもらえるような機会を作っていきたいと考えておられる。職員は、地域の方に認知症のことや介護について、さらに知っていただきたいと思っておられ、介護教室を開催してはどうかと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 毎日の業務で一生懸命で、取り組めていない。		運営推進会議の時などに、地域の意見を聞く。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 今回、外部評価に関わるのが初めての職員もあり、皆意義は理解できているが、具体的な改善についてはまだこれから取り組まなければならない。 (外部評価) サービス評価のガイドブックや前回の自己評価を参考にしながら、職員個々で自己評価に取り組み、ユニットのリーダーがまとめられた。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、介護計画の様式に、ご家族から意見や要望を記入してもらった欄を設け、工夫された。		評価終了後にスタッフ会で改善内容を確認し、協力して改善に取り組む。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			現在のサービス状況について報告している。評価の取 組みについては不十分である。 スタッフ会で会議の報告はするが、新しい職員はわか りづらいところもある。		現場の職員も交代で参加出来るよう勤務を調整す る。 法人内のGH施設長にも参加してもらい、メン バーの充実を図る。
			(外部評価)		
			会議は、家族会時に合わせ開催されることもある。地 域の方からは、「月行事への参加を回覧板で呼びかけ てはどうか」と提案いただいた。		さらに、ご近所の方にも出席いただけるような働きか けや、いろいろな立場の方からの意見を引き出せるよ な会議のすすめ方等についても、工夫を重ねていかれ てほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			入居に関わることなどについて連絡・相談している。 施設長が主に行っているため、他のスタッフにはわか りにくい。		公報なども読んで、市町村の情報を取り入れる。 市との対応は施設長が主に行うことには変わりはない が、他職員でも（介護支援専門員・ユニットリーダー など）施設長不在の時に対応出来るようにする。
			(外部評価)		
			市主催のグループホーム連絡会等に参加し、意見交換 を行っておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			制度があることは知っているが、詳しくは理解してい ない。		現在の入居者にはいないが、必要な方が入居されれば 支援していきたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			学ぶ機会は少ないが、日常的に声をかけ合い、一人一 人が努めている。虐待はなく、人間として当然のこと として取り組んでいる。		常に意識して援助する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 施設長が行い、丁寧に行っている。大切な家族のことなので、常に何でも言ってもらえるように伝えている。本人からも言いやすいような雰囲気心を心がけている。		説明の要望があった場合に、答えられるように準備しておく。施設長以外に、契約について対応の出来る職員を育成する。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日常的に不満・苦情をその都度聞けるようにコミュニケーションをはかっている。定期的に介護相談員の訪問もあり、意見を聞いてもらっている。		ゆっくり話す時間を増やす。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、請求書と一緒に写真付の手紙を書き、近況を報告している。異常があったときはすぐ家族に連絡し、相談して対応している。 (外部評価) ご家族からの電話の際には、職員はご自分の名前を名乗り、ご本人の様子を伝え、利用者とも直接お話できるよう、つないでおられる。ご家族にも運営推進会議の内容を記した議事録を送付されている。		手紙のない様を、具体的に、ご家族にわかりやすいように書く。 ご家族の知りたい情報を、定期的に知ることができるような報告の工夫も期待される。たとえば、事業所のケアの取り組みや災害対策、職員の紹介等、又、事業所で特に力を入れていること等についても、ご家族に報告されてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時に相談窓口について説明している。苦情があった時は職員で話し合い、対応し、家族に報告している。何でも言いやすいような雰囲気づくりを心がけている。家族会の時にも、意見を聞くようにしている。 (外部評価) ご家族には「何でも言ってくださいね」と気軽に意見を出してもらえよう、声かけされている。苦情等があった場合には、スタッフ会で話し合い、今後の対応についてご家族に報告されている。事業所主催の盆踊りの際には、ご本人も浴衣やじんべを着て楽しめるよう、ご家族にも協力をいただいた。		意見を出していただける信頼関係づくり。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者は施設長以外の職員とはほとんど関わりがない。2ヶ月に1回の法人付帯施設会議、週に1回の稼働状況報告の際、施設長から運営者に向けて話をしているが、なかなかスムーズには要望は通らない。施設長は毎月のスタッフ会、個人面接、日常の意見交換でその都度対応してくれてる		現場職員が運営者に意見を述べる機会が欲しい。上層部の理解を促したい。 (予定では3月のから、数ヶ月に1回ではあるが、法人の課長・部長がスタッフ会に参加することになっている)
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に合わせて、勤務調整されている。		人員の補充。 勤務体制の検討。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職に関して、そこまで考えているとは思えない。現場職員はダメージを防ごうと関わりの中で努力している。		異動命令の前に意見を聞いて欲しい。 早めの異動通知と、十分な申し送り期間が必要。
			(外部評価) 新人職員は、利用者個別の記録を見られたり、先輩職員から接し方についてアドバイスをもらいながら、利用者へ接しておられる。新人職員が利用者や業務に馴染んだ頃に、法人内で異動となることもあり、利用者やご家族に不安を感じさせることもあるようだ。		認知症の状態にある方が住まうグループホームは、馴染みの職員が利用者にかかわることが特徴でもある。この機会に、法人も含めて「職員の異動等による利用者、家族への影響への配慮」について、対策を検討されてほしい。又、今後の取り組みについてご家族や運営推進会議時にも報告されてほしい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内で管理者研修・中堅者研修・初任者研修を行っているが、「育てる」という視点では不十分であると感じている。 付帯施設の施設長・責任者が中心となって、付帯施設内で可能な範囲で行っている。		21年度も付帯施設勉強会にできる限り参加し、現場に役立つ研修を行っていく。
			(外部評価) 職員は、法人内の研修に参加している。職員会時に勉強会を行ったり、経験を重ねた職員が、職員個々にアドバイスをされている。		さらに、職員個々が外部研修についても受講できる機会を増やしていかれてはどうか。貴事業所のさらなるケアサービスの質向上に向け、計画的に取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 取組まれていない。 こちらから働きかけても反応は薄く、期待はできない。		現場の状況をもっと知ろうとして欲しい。 施設長からの意見を聞き、きちんと回答して欲しい。
			(外部評価) 管理者は、市内GH連絡会に参加されている。又、法人全体での研修会時には、法人内の事業所で意見交換をされている。		市の担当から運営推進会議時、同業者の方にも参加してもらってはどうかとアドバイスをいただいた。さらに、地域の他事業所との交流やネットワーク作り等、意見交換や、協力し合えるような交流を深めていかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 取り組めていない。一スタッフまで気を配っているとは思えない。		現場をもっと見て欲しい。 勤務状況を把握して欲しい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 年2回、能力開発カードを作成し、面接も行っているが、意味があるようには感じられない。		契約職員や準職員の雇用基準・給与基準が不透明で納得できないことがある。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 話のできる人は本人の話聞き、意思の疎通が難しい人は行動等で理解しようとしている。 距離感を観ながら努力している。		状況によっては事前訪問や、本人による事前見学もすすめる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 契約時や面会時に何か要望がないか伺うようにしている。		これから続けて努力する。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 気持ちや緊張度も考慮し、対応できる範囲で行っている。		全ての職員が、「見極め」ができるように、お互いに協力しながら対応していく。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族からの情報や本人の表情を見ながら徐々に働きかけるようにしている。		距離感を確認し、信頼関係を築きながら、本人のペースに合わせていくようにする。
			(外部評価) 利用者は、自宅から入居となる方が多く、入居前には、ご本人やご家族に事業所を見学していただき、雰囲気味わってもらっている。		今後、利用者に関わる職員が、入居前に利用者ご本人宅を訪問することも検討されていた。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 様々な手伝いをしてもらい、その際は「ありがとう」の声かけを忘れない。 また、季節行事や慣習については教わることも多い。		入居者さんと職員は、お互いに支えあっているということを感じながら、日々援助する。
			(外部評価) 職員は、利用者に切干大根等の乾物作りや料理の味付けを教えていただいている。調査訪問時、利用者が落とされたタオルを他の利用者が拾ってあげるような助け合いの場面もうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時に近況報告を行う。 壁新聞で日頃の様子の写真を張り出し、面会時に見てもらおう。 定期の報告に写真送付状を送付している。		職員もご家族と気軽に会話し、さらに信頼関係を築けるよう努力する。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会しやすい雰囲気作りを心がけている。 電話・手紙での交流も希望に応じ手伝っている。		入居者さんから、ご家族に手紙を出す機会を増やす。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 主治医・かかりつけ美容院などに応じている。 面会に来やすい雰囲気作りに努めている。		馴染みの店の利用を続ける。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係性をみて、必要以上に介入しないような働きかけを行っている。		入居者さん同士の会話ができればよいよう援助する。 お互いの気持ちを確認しながら、助けあえるよう援助する。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院中、面会を行う。 病院側とも連絡を取り、入退院対応につなげている。		これからも、必要とされる場合には対応していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			生活リズムをみて、家族からの情報も参考にし、本人の意向を確認しながら行うようにしている。		本人の気持ちを最優先にする。
			(外部評価)		
			事業所では、利用者の「その時、その瞬間」の気持ちを大切にされており、「お風呂に入りたい」という意欲や、ご本人のその時の希望に応じることができるよう努力されている。		今後も、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を探る努力を続けていかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時に、本人や家族から情報を伺い把握するようにしている。またホームで生活しながら本人や面会者から情報を伺い、記録に残すようにしている。		職員全員が情報を共有できるようにする。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			毎日、状態観察を怠らず、「違い」に敏感に気づけるように常に心がけている。		観察力の向上に努める
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			3ヶ月ごとにカンファレンスを行い、作成している。日常生活の中や、面会時などに気持ちや意見を伺うようにしているが、まだ少ない。		本人や家族の言葉を記録に残し、プランに反映させる。
			(外部評価)		
			介護計画は、利用者個々のアセスメントをもとに、担当職員が中心となって職員で話し合い、作成されている。介護計画には、ご家族の意見や要望を記入する欄を設け、よりご本人ご家族の思いを採り入れた計画の作成に努めておられる。		さらに、今後も、ご家族の希望や意見、アイデア等を引き出せるよう、働きかけの工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3ヶ月ごとに見直し、作成している。 入退院や、急激な変化のあった時にも新たに作成している。		全スタッフのカンファレンス能力の向上
			(外部評価)		
			介護計画は、3ヶ月ごとの見直しと、入居時や退院時等、ご本人の状態に応じて随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			記録ファイルにケアプランをはさみ、日々確認できるようにしている。 気づきや対応を記録に残すようにしている。		ケアプランを意識したケアの徹底
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			ご家族による対応が難しい場合や、本人の心身の状態により、受診の援助を行っている。 それぞれの主治医との連携も行い、対応している。 医療連携体制をとっており、月に2回の看護師の訪問により、アドバイスを受けている。 また急変時にも対応できるようにしている。		これからも続けて対応していく。
			(外部評価)		
			ご本人ご家族のご都合や状況に応じて、通院等、職員が同行されている。事業所では、利用者の方がご親族の結婚式に出席できるよう、ご家族とも相談しながら体調管理や精神面にも配慮して、計画的に支援された。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 福祉体験ボランティアの受け入れ。 西予市消防署による消防訓練の実施。 運営推進会議への、民生委員さんの参加。		レクリエーションに関するボランティアグループに定期的に訪問してもらえるよう、取り組む。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在のところ、他事業所のサービスは利用していない。		必要時には速やかに対応する。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 特に協働はしていないが、入居の問い合わせなどに対応することがある。		必要時には速やかに対応する。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時に担当医の希望を伺い、対応している。 又、症状に合わせて適切な医療機関を受診できるよう支援している。 (外部評価) 以前からのかかりつけ医を受診されている方もおられる。ご家族が通院に付き添われる場合は、事業所での様子を書いたメモを持参いただくようにされている。時には、ご家族と一緒に職員も同行されることもある。		これからも支援していく。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ホーム主治医のほうから、真網代くじらりハビリテーション病院の専門医と連携をとれるようにしている。		定期的な健診（年に1回程度）

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 月に2回、看護職員が来所し、相談、アドバイスを受けている。 かかりつけ病院の看護職にも相談しながら対応している。		これからも続けて支援していく。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 職員が面会し、医師や看護師、ご家族から状態について情報を得て、退院に向けて備えている。		施設長だけでなく、他の職員も対応できるよう体制を整えていく。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期に向けた対応はまだ経験がないが、重度化してきた場合には、家族・主治医などと相談して、今後の方向について決めている。 詳しい話については、施設長が行っているため、職員全員が方針を共有できていないことがある。		終末期の対応についての、意識の統一を図る。
			(外部評価) 現在は、入院時等、利用者の状態変化時、ご家族と今後のことについて話し合っておられる。ご家族の中には、「最期まで事業所でお願いします」と言われる方もある。		利用者が重度化した場合や終末期の支援について、事業所の体制等について話し合ってみてほしい。又、ご本人ご家族の不安や心配ごとを踏まえて、早い段階から話し合いができるような取り組みも期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 医療連携の看護師を設置している。 市にも相談しながら準備している。		法人外の施設でもスムーズな紹介ができる体制作りが必要。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族やケアマネージャーからの情報を受け、本人の気持ちを確認しながらダメージが最小限になるように努力している。		これからも続けて対応していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			(外部評価)		
			居室に入るさい、本人に了解を得て入室するようにしている。 言葉遣いにも気をつけ、職員同士で注意し合っている。記録などの取り扱いにも十分注意している。		職員同士で、確認・注意し合いながら気をつけていく。
			調査訪問時、職員は、利用者に対して穏やかに声をかけておられる様子がうかがえた。		職員同士の業務の会話等のやりとりや、トイレの戸の開閉等、配慮が必要な場面も見受けられた。この機会に職員で点検し、話し合いをされてみてはどうだろうか。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			(外部評価)		
			認知症であること、認知症の症状について理解しながら、本人の思いや希望がくみとれるように心がけている。		認知症に関する知識を深めていく。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			(外部評価)		
			日勤者数が少ないときなど、忙しいときに職員のペースになっていることがある。 入居者のその日その日の体力や気持ちを確認しながら支援するよう心がけている。		人員の補充を上層部にもとめる。 勤務体制の検討。
			毎日、新聞を読まれる方や昼食後ソファに座り、テレビを見ておられる方がうかがえた。		現在、事業所では、さらに利用者の思いに沿ったケアを実践するために、職員の人員の補充を希望されており、法人から事業所の様子を見に来られる予定もある。さらなる貴事業所のケアサービスの質を高めるための話し合いを、法人も含めて重ねていかれることが期待される。又、今後の事業所の取り組みについて、運営推進会議やご家族にも報告するような機会を設けてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 入居時になじみの店などを確認し、要望に応じて利用してもらえるよう支援している。近所の理容店をよく利用している。		介護度の重度化に伴い、ホームへ来てくれる近隣の美容院をつくっておく。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備・配膳・片づけまで、利用者さんにできることをお願いし一緒に行っている。 (外部評価) 食事は、ユニットごとに違うメニューとなっている。調査訪問時、利用者と一緒に食事の準備をされていた。誕生日には、ご本人のお好きな献立でお祝いをされている。ユニットのリーダーは、食事介助の必要な方の間に座り、ご自分も食事しながら、お二人に食事介助されていた。		体力の変化、気分などに合わせて柔軟に対応していく。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつは、一人一人に合わせた提供はできていないが、好みに合わせる努力はしている。正月など、季節行事の時などは、お酒をのんでもらうようにしている。		日常なおやつに、好きなものを取り入れられるようにする。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) できる限り布パンツを利用できるように支援している。個々の排泄パターンを確認し、必要な援助を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			2～3日に1度の入浴を基本としている。希望があれば、毎日の入浴もしてもらえる。		入浴を嫌がる人への声かけに、さらに工夫が必要。
			(外部評価)		
			希望があれば、その都度入浴できるよう支援されている。入浴に気がすすまないような方にもタイミングを見ながら声をかけ、ご本人が「入りたい」と思う時に支援できるよう努力されている。		さらに、希望の入浴時間について、探っていきたいと考えておられ、現在は夜間入浴の希望はないが、希望があれば対応していきたいと考えておられた。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			年齢や体力に合わせて対応している。室内の換気、温度調節にも気をつけている。		本人の好みや、季節に合わせて、柔軟に対応していく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			毎月、月行事を行い、楽しんでもらえるようにしている。毎日、役割を持ち、作業されている方もあるが、十分ではない。		ボランティアによるレクを定期的に受け入れていく。
			(外部評価)		
			誕生日や、お正月等の特別な日には、お祝にお酒を少し飲まれる方もいる。食事の支度が日課となっている方もある。		今後、ご家族からの手紙へのお返事を出せるような取り組みも、すすめていきたいと考えておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族の了解も得て、日用品の購入や美容院での支払などされる方がある。しかし、ほとんどの方は管理が困難なため手持ちでお金を持っておられず、支払などの場面はほとんどない。		一緒に買い物へ行き、自分のものは自分で買ってもらう機会をつくる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			寒さ・暑さが厳しい時期はなかなか外へ出られないが、気候の良い時は買い物、近所への散歩へよく出かける。畑での収穫・手入れなど一緒に行くこともある。		季節に応じて今まで通り、買い物や散歩など行う。
			(外部評価)		
			日々、事業所の敷地内を散歩されたり、食材の買い物に出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			西予市社協主催の「おイネ号」に参加を働きかけている。(20年度は応募人数が多く、参加できず)		昔の思い出の地など、行きたいところ聞いておく。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			年賀状を毎年書いてもらうようにしている。贈り物が届いたお礼の電話や、「家の者が気になる・・・」などの希望に応じて電話をするなど、援助している。		手紙を書ける人は、機会をもっと増やしたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			自分の部屋でゆっくり話してもらえよう援助している。(食堂でも同じように援助)		自室の装飾。(行事の写真を飾る など)

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 運営者については定かではない。 「具体的な行為」までは把握できていない職員もいるが、「身体拘束はしない」と常に意識して援助している。		全職員が「具体的な行為」を知ることが必要。 スタッフ会で勉強する。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は玄関の鍵は常に開いている。 居室は、夜間本人が内側から掛けられることがあるくらいである。		今まで通り対応していく。
			(外部評価) 玄関は鍵を掛けず、気ままに出かけられる方には職員がそっと見守り付き添っておられる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員が個室に入って援助しているときなど、位置を把握できていない時がある。		足音やチャイムの音、話し声などを確認しながら配慮するようにする。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 入居者さん一人一人に応じた対応ができています。		今まで通り対応していく。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 避難訓練は、原則毎月1回行っている。 足元不安定な人多く、転倒には気を配っている。 ヒヤリ・ハット報告書・事故報告書を作成し、職員に読んでもらい、気をつけている。		窒息・誤薬などの対応について学ぶ機会を持つ

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には行っていないが、スタッフ会や日常業務の中で、確認するようにしている。		道具の使用方法的の周知。 付帯施設勉強会での勉強。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 毎月1回避難訓練を行い、少しでも避難経路を覚えてもらうようにしている。 地域への働きかけはできていないが、地区防災組織の講習会に施設長が参加し、努力している。 (外部評価) 夜間時の火災を想定して避難訓練を行っておられる。管理者は、地区の防災組織の研修会に参加し、地区の方達と防災について学ばれた。		避難訓練を続ける。 地域の方々との協力方法について考えていきたい。 今後さらに、地域との協力体制作りをすすめ、いざという時に駆けつけてくれる協力者を増やしていかれてほしい。いろいろな場面を想定し、訓練を重ねていられることが期待される。又、そのような事業所の取り組みをご家族にも報告されてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 施設長が入居時に転倒・骨折などの可能性や、その対応などについてせいつめいして		これからも続けて対応し、入居者さんの状態に合わせてご家族にこまめに報告し、安心して暮らしてもらえるよう対応する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝の状態観察を行い、状態の変化に応じて主治医に報告し、指示を受ける。 「いつもとは違う状態」早く気づけるように努めている。 申し送りを徹底し、情報を共有する。		職員全員が状態観察力の向上に努め、迅速に判断・対応ができるようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬情報に目を通すように心がけていて、以前に比べ副作用なども確認している。 新しい薬が処方された時は特に体調の変化に気をつけて観察している。		薬の使用方法・副作用についてさらに勉強が必要 変更時の観察・対応についての再確認 日々の業務のなかで職員同士で注意しあう
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給を促し、野菜・乳製品を多く摂ってもらうようにしている。		下剤の使用を調整し、なるべく自然な排便ができるよう対応する。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを援助している。 義歯・残存歯のない方に対しても、粘膜ブラシで口腔内のマッサージを行っている。		口腔ケアをしながら、口腔内の状態を観察し、異常がないか確認する。(特に残存歯のある方)
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 入居時は特に気をつけて、水分摂取量を確認するようになっている。 毎食、食事をチェックし、状態に応じて栄養補助食品で対応している。 (外部評価) 担当職員が、1週間づつ献立を立てておられる。水分にとりみをつけている方もあった。		メニューがワンパターンになってきているので、内容を再考する。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 全職員、出退勤時にうがい・手洗いを行っている。 入居者さんも、外出から帰ったときには必ずうがい手洗いをし、面会者や見学者、業者の方にもホーム内に入るときはうがい手洗いをしてもらっている。 日に1回、手すりの消毒を行っている。 日に2回、換気を行っている。		流行の情報収集 面会者・来訪者のうがい・手洗いの徹底 普段からの清潔の保持

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食材は2日分ずつ購入し、新鮮なものを使用している。布巾、まな板は毎日消毒している。</p>		<p>食中毒予防についての勉強 魚は近くの鮮魚店より、当日に配達してもらっている。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を飾るようにしている。 畑・木々の手入れができていない。 夜間は玄関の外灯をつけておく。</p>		<p>わかりやすい看板があればよいのではないか。 近隣に迷惑がかからないような環境作り(木の枝など)</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を時々飾る。 月行事に関連する飾りをしている。 明るく広々とした空間で、居心地良いと思う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間には、利用者と共に新聞紙を利用して作った、梅の木とうぐいすが壁に飾られていた。廊下等にも椅子が配されていた。</p>		<p>花を一緒に買いに行き行って飾る。 居室入り口のカーテンは、夏・冬で用意したい。 個室内の装飾を工夫したい。 浴室の狭さ、2階の防音を改良して欲しい。</p> <p>テレビの音や職員の会話等、利用者の居心地の良い環境作りという点から、この機会に事業所内の「音」について、職員で意見を出し合ってみてはどうだろうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人になれるのは自室とトイレであり、気の向いた時に居室に戻られている。 ソファや食卓で、会話される姿も見られる。</p>		<p>職員が介入しすぎないように、入居者さん同士のつながりを見守ることも必要。 ソファの配置を変化させ、コーナー作りの工夫を試してみる。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人の馴染みのものを持ってきてもらっているが、寝るだけの部屋になっている。		カーペットやイス、テーブルなどを持ってきていただく。 手紙を書いたり、本を読んだりできるような部屋作り。 壁面を利用して、行事の写真をかざる。 本人と相談して、不要なものは片づける。
			(外部評価) 居室で、ご家族に手紙を書いたり編み物をして過ごされる方もいる。鏡を見ながら化粧品でお肌のお手入れをされている方や、洗濯物を干しておられる方もある。誕生日に撮った写真が飾られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 24時間換気設備がある。 1日に2回換気をしている。 居室でも、入居者さんに確認しながらエアコンを調整している。		温度・湿度の管理を継続 冬場の換気に気をつける
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 段差も少なく、スペースも広く、残存機能を活かせるよう、車椅子・手押し車なども利用されている。		転倒事故の原因となった床の設備を改良した。 見守りをしながらの支援
			(外部評価) 自分のことはなるべく自分でしてもらい、困っていることや、一緒に行くことで安心して活動できるようにしている。 入居者さんによって対応方法に変化が必要なことを日々の業務の中で話し合っている。		できることを奪わない援助をしていく。 認知症ケアのさらなる理解と勉強が必要。 入居者さんの話したいことをゆっくり聞く。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 自分のことはなるべく自分でしてもらい、困っていることや、一緒に行くことで安心して活動できるようにしている。 入居者さんによって対応方法に変化が必要なことを日々の業務の中で話し合っている。		できることを奪わない援助をしていく。 認知症ケアのさらなる理解と勉強が必要。 入居者さんの話したいことをゆっくり聞く。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 夏には朝顔をベランダに植え、ソファから見えるようにしていた。 気候の良い時期には水やりや、掃除などを行っている。 畑野菜を取りに行ったり、裏の駐車場で食事やおやつを食べたりしている。 裏の駐車場で、家族会で盆踊りを行っている。		今年も続ける。
			(外部評価) 夏には朝顔をベランダに植え、ソファから見えるようにしていた。 気候の良い時期には水やりや、掃除などを行っている。 畑野菜を取りに行ったり、裏の駐車場で食事やおやつを食べたりしている。 裏の駐車場で、家族会で盆踊りを行っている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	意思疎通が難しい方もあり、細かいところまではできていないように思う。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	声かけはよくするが、ゆっくり過ごす時間は職員が少ないときには困難であるのが現状。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人のペースやリズムを壊さないように心がけている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声をかけたり、会話をしたりすることで笑顔が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	車の乗り降りが困難であったり、職員数が不十分であったりして、外出の機会が少ない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の体調を観察し本人からの訴えを聞いたうえで、主治医に報告し、指示を受けた対応できている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々変わる訴え・状況に対応できるよう心がけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ご家族の気持ちや不安な事をできる限り伺い、気持ちに添えるよう心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	家族・友人・知人の面会はあるが、地域の人々が訪ねてこられることはない。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 評価) ③あまり増えていない ④全くいない	区長さんや、民生委員さんなどとても協力的に参加してもらっている。しかし、地域 全体を見ると、まだまだホームについての理解はすすんでいないと思われる。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	職員全員が協力し合っており、イキイキと働けるよう心がけているが、職員の入れ替 わりなどで忙しい日々が続く、疲れが溜まっているのも事実。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	表情良く笑顔がかえってくることが多いが、時に「帰ろうか」と言われることもあ る。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	意見や希望も伺うことができ、ホームの介護を理解してくださっている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

第2の我が家になれるよう、入居者さんができることをしてもらい、できないことをお手伝いする、という気持ちで取り組んでいる。
 また、20年度は職員の入れ替わりが多かったため、21年度は職員の資質の向上と安定に力を入れていきたい。